

[様式9-1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	吉津保育園	施設種別	保育所 (旧体系：保育所)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成25年1月18日

総 評	<p>吉津保育園は、昭和27年に宮津市立(当時は村立)として吉津地区の公立保育所として開園され、平成20年4月から社会福祉法人みねやま福祉会へ民間移譲されて、現在に至ります。</p> <p>みねやま福祉会は、幼い子どもたちからお年寄り、障害のある方すべての人が幸福であることを願い、乳児院・乳児保育所・保育所・障害児通園施設・老人福祉施設など15施設の運営を行っており、職員が仕事と子育てを両立しながら、その経験や能力を十分に発揮できるような働きやすい雇用環境の整備を行っています。また、次世代育成支援対策に貢献するため、育児・介護休業法を上回る子どもの看護休暇制度の実施、妊娠中や出産後の女性労働者の健康確保について、労働者に対する制度の周知や情報提供及び相談体制の整備の実施など次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画も策定されています。</p> <p>吉津保育園の「大切にしたい3つのこと」として、「温もりある家庭的な雰囲気、お子さん一人ひとりの発達、お子さんやご家庭とのコミュニケーション」を大切にされており、子どもたちが安心して生活出来る場として、保護者が安心して預ける事が出来る保育園として日々努力されています。</p> <p>地域に根ざした保育園として地域の様々な行事に参加し「地域交流活動報告書」を作成し、高校生などのボランティアの受け入れを行っています。</p> <p>組織風土診断として50項目に及ぶ職員アンケートを実施し、データを分析。その結果を経営や業務の効率化と保育や職員の資質向上に向けて取り組んでいます。</p> <p>保育室は家庭的な雰囲気、くつろげるよう量のスペースもあり、生活の場にふさわしい環境が整備されています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 法人内の施設長会の下に、中長期の人事方針を策定し、人事考課による定期的な面接も行っていきます。 栽培した野菜を食材にクッキング保育を実施し、異年齢給食バイキング、リクエスト給食など食育活動を取り入れ、子どもたちが楽しんで食べる工夫をしています。保護者にも給食、おやつを試食会を開催しており、日々の給食の材料を展示し、食材に興味を持てるよう配慮しています。 保護者との日常的な情報交換を連絡帳で行い、個別懇談を行っています。クラス懇談や育児の相談、保護者参加型の行事や保育参観、食育講演会など保護者と保育の共通理解の機会を設けています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 保育課程が編成され、それに基づいて年間指導計画、短期指導計画を作成しています。短期指導計画は、定期的に評価・反省を実施し、次の計画にその内容を反映させています。今後は保育課程や指導計画の内容を保護者などに理解してもらえよう工夫されるとより良いでしょう。 乳児の午睡中のSIDSに関する知識は周知されていますがSIDSの確認のため、確認時間のチェック表を作られると良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	吉津保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成25年1月18日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-2(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
		① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A	
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A	
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A	
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

- ・ 保育の理念、基本方針、保育目標は、園内や園のパフレットに明示されています。職員には職員会議・園内研修で周知しています。
- ・ 保育課程が編成され、それに基づいて年間指導計画、短期指導計画を作成しています。短期指導計画は、定期的に評価・反省を実施し、次の計画にその内容を反映させています。今後は保育課程や指導計画の内容を保護者などに理解してもらえるよう工夫されるとより良いでしょう。
- ・ みねやま福祉会全体で中・長期計画が経営プロジェクト会議で検討され、保育所部門としても児童プロジェクト会議で検討されています。
- ・ 管理者の役割や責任について検証するために年2回法人理事長との懇談の機会を持っています、クラス懇談会などには施設長も参加し保護者からの意見も保育に取り入れています。
- ・ 組織風土診断として50項目に及ぶ職員アンケートを実施し経営や業務の効率化と改善に向けて取り組んでいます。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A		
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A	
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

- ・法人の各施設の施設長会や経営プロジェクト会議など法人の経営をとりまく環境を把握しています。
- ・法人内の施設長会の下に、中長期の人事方針を策定し、人事考課による定期的な面接も行っていきます。
- ・法人内に心理相談員がおり、希望があれば相談できる体制になっています。
- ・職員健康管理プランを作成し職員の健康維持に取り組んでいます。
- ・職員の個々の研修計画を作成し、研修に参加しています。
- ・実習生やボランティアの受け入れには保育士養成校からの訪問に園長、実習生を含む三者面談を行っています。
- ・高校生などのボランティアを年間133名受け入れています。
- ・地域交流活動報告書を作成して地域との交流を行っています。周知には回覧板や掲示板などを利用しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	B
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	B

[自由記述欄]

- ・利用者のプライバシー保護に関して、入園説明時において写真掲載や連絡網の作成について説明をし、保護者から書面にて同意を得ています。
- ・苦情解決の体制は、しおりに明文化されていて保護者にも周知されています。苦情を申し出た保護者などに配慮した上で、苦情内容や解決結果などを公表するとお良いでしょう。
- ・年2回、人事考課制度を実施し、評価シートを作成しています。評価シートに基づき職員の資質の改善に取り組んでいます。
- ・毎月2回の職員会議の中で、利用者一人ひとりのケース会議を行い、職員間で利用状況などの情報を共有しています。
- ・利用希望者には、入園のしおりのや法人内のホームページで情報を提供し、希望者には園の見学などを実施しています。
- ・転園児に対する保育の継続性に配慮した対応を工夫されるとお良いでしょう。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかがわかるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	B
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	A

[自由記述欄]

- ・健康管理、感染症対応などのマニュアルが整備され、職員が子ども一人ひとりの健康状態を把握しています。感染症が発生した場合、お知らせや掲示するなど保護者に周知しています。
- ・健康診断、歯科健診の結果を保護者に書面で伝えています。歯科衛生士によるブラッシング指導を行っています。
- ・栽培した野菜を食材にクッキング保育を実施し、異年齢給食バイキング、リクエスト給食など食育活動を取り入れ、子どもたちが楽しんで食べる工夫をしています。保護者にも給食、おやつを試食会を開催しており、日々の給食の材料を展示し、食材に興味を持てるよう配慮しています。
- ・各部屋に湿温計があり、温度、湿度に配慮しています。手洗い場やトイレは設備の管理や清掃がさらに行われるよう清掃点検表を作られると良いでしょう。

- ・寝具は毎週末に持って帰り、月曜日に持ってきてもらっています。
- ・保育室は家庭的な雰囲気、くつろげるよう畳のスペースもあり、生活の場にふさわしい環境が整備されています。保育方針に記載されているように、子ども一人ひとりの発達を把握しゆったりと落ち着いた保育が実施されています。保育室の壁面には子どもたちの作品が掲示されています。各年齢に応じた玩具など自主的に遊べる環境が整備され、3歳以上は自由にはさみや、のりなどを使い制作を楽しんでいます。鍵盤ハーモニカや合唱を楽しむなど表現活動ができるよう取り組んでいます。
- ・乳児保育に相応しい環境（床暖房、畳）が整備されており、子どもたちにきめ細やかに対応し、家庭的な雰囲気の中で保育が行われています。
- ・乳児の午睡中のSIDSに関する知識は周知されていますがSIDSの確認のため、確認時間のチェック表を作られると良いでしょう。
- ・長時間保育のための環境が整備され、職員間で連絡ノートで連携を取るなど適切に取り組まれています。
- ・障害児保育については研修に参加したり法人内の療育施設と合同勉強会をするなど情報交換をし共通理解に努めています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

- ・保護者との日常的な情報交換を連絡帳で行うと共に、必要に応じて個別懇談を行っています。クラス懇談や育児の相談、保育参観、食育講演会など保護者参加型の行事を通じて保育の共通理解が深まるよう努めています。
- ・虐待防止マニュアルが作成され、職員に周知されています。
- ・一時保育は個人面談を行い、パンフレットを作成し事業の内容を説明しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	B
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

- ・衛生マニュアルの内容は職員に周知され、調理室は清潔に保たれています。今後は調理場、水回りなどの衛生管理に関するチェックリストを作成し、適切に管理されるとな良いでしょう。
- ・食中毒、事故防止、事故災害発生時のマニュアルが整備され、職員間でその内容を共有しています。